

6 研究目的

本欄には、研究の全体構成及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ、①研究の学術的背景、②研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、③当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点および予想される結果と意義に焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

●研究課題の学術的重要性・妥当性

- ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか
- ・研究の構想や目的が具体的且つ明確に示されているか

●研究課題の独創性

- ・研究対象やもたらされる研究成果について、独創性が認められるか
- ・先行研究を適切に踏まえた上での独創性であるか

●研究課題の波及効果

- ・書学書道史研究の進展に対する貢献が期待できるものであるか
- ・新しい視座から書学書道史領域を開拓する契機となるものであるか

7 研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成29年度の計画と平成30年度の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

●研究計画・方法の妥当性

- ・研究期間（2年間）に照らし、研究内容は妥当であるか
- ・研究期間各年度における研究内容の配分は適切か

●研究計画・方法の柔軟性

- ・研究計画を遂行する上で、当初計画通りに進まない場合の対応についても考慮しているか

【平成29年度】

.....

【平成30年度】

.....

12 備品・物品／消耗品／旅費の明細 (合計額が300,000円になるように記述する。)						
※旅費については交通費、宿泊費など事項ごとに記入してください。						
年度	備品費・物品費の明細	金額	消耗品費の明細	金額	旅費の明細	金額
29	品名・仕様 (数量×単価) 『書籍』著者,出版社, 刊行年 (1×@5,000) デジタルカメラ,メー カー,品番 (1×@40,000) ※具体的に	5,000 40,000	品名・仕様 (数量×単価) ディスク メモリーカード 複写費,印刷費 ※具体的に		発着・交通手段・宿舍名 調査・研究旅費 東京発 京都着 新幹線自由席特急券 宿泊地 ※具体的に	
30						
合計			合計		合計	
計						300,000 円
13 備品・物品／消耗品／旅費経費の必要性						
本欄には、上記「備品・物品／消耗品／旅費の明細」の研究経費の必要性・積算根拠について述べて下さい。						
<ul style="list-style-type: none"> ● 「備品費・物品費」、「消耗品費」、「旅費」の各項目について、研究計画の遂行上、必要不可欠な経費であることを、できるだけ具体的に記述すること。 ● 「研究計画・方法」との整合性が取れているか、留意すること。 ● 「備品費・物品費」、「消耗品費」のいずれに記載するか判然としない場合は、より適当と考えられる欄に記入すること。 						

**書学書道史学会 「研究促進助成金」
研究計画書 セルフチェック 10**

1. 研究計画書 1 枚目（研究課題・応募者基本情報 1～5 項）の記載内容に不備はないか。

- 研究題目は的確か（40 字以内）。
- キーワードを 2～3 語 挙げているか。

2. 研究計画書 2 枚目（6 研究目的 7 研究計画・方法）は十分に記述しているか。

- 審査の対象となる事項は、全て十分に記述しているか。
※空白部の多い計画書は評価されにくい。少なくとも 8 割程度は埋めたい。
- 審査委員が読むことを意識して記述しているか。
※自分だけにしか分からないような書き方になっていないか、留意する。

3. 研究計画書 3 枚目（8～11 項）に記載事項の漏れはないか。

- 9 項は注記通り、年次ごとに罫線で区分して記載しているか（論文の場合、査読の有無も記載すること）。梗概の記入を忘れていないか。
- 10 項は注記通り、①科研費 ②科研費以外 に分別して記載しているか。研究成果の内容を書き漏らしていないか。
- 8 項（10 項） 11 項において、該当しない場合は「該当なし」「該当しない」と記載しているか。
※該当しない場合も、空欄のままにはしない。

4. 研究計画書 4 枚目（12・13 項）は正確且つ具体的に記載されているか。

- 各費目の積算は正確か。総計額が 300,000 円になっているか。
- 研究経費は研究計画・方法と整合性が取れているか。研究内容にそって、経費の必要性・妥当性が明確且つ具体的に記載されているか。

5. 全体を通して

- 様式を改変していないか。
※ページの増減、記入枠の拡大・縮小、項目の削除等は、様式の改変と見なされ、審査に付されないことがある。

「研究促進助成金制度」研究計画書の記載方法

文責：書学書道史学会研究局 副研究局長 永由徳夫（群馬大学）